



芳川冬子

櫻本吉風遺稿

天保十三年頃ナメリ

本間文庫
文庫 14
A184



六

御本殿

右月



右月の新神の心を求て
あはれおのりともやいささこ
らもあはれ

御まのいはいささこ
とまのいはいささこ

はるあはれ
はるあはれ

はるあはれ
はるあはれ

はるあはれ
はるあはれ

はるあはれ
はるあはれ

はるあはれ
はるあはれ

さういふぬんともさう
多川津の白くちりたき
いさくさくいさくおくら
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

さういふぬんともさう
さういふぬんともさう
さういふぬんともさう

山鹿

あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう

あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう

あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう

神橋

本名

明維

あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう

あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう

あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう
あだつらふはわらう

ゆきまきしふらふらとく
きりぎりすのこゝろに
月あり

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

あきつるはらに
あきつるはらに
あきつるはらに

隠

かくてをよとがうらむことなる
所敷とみくらを極る

初めは梢おみ。世人乃
袖のむらさきをよとる

たがもふとふくたを
はらひのむらさきをよとる

れもよとる。神垣は
あはれとてけり

和歌の風。あはれとて
かたに。あはれとて

主君。あはれとて
あはれとて

んはよ

はる人乃たよとる。あはれとて

はる人乃たよとる。あはれとて

はる人乃たよとる。あはれとて

はる人乃たよとる。あはれとて

はる人乃たよとる。あはれとて

はる人乃たよとる。あはれとて

はる人乃たよとる。あはれとて

出さす子、
物もさすならぬ海の子
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

けさのけさのけさのけさの
けさのけさのけさのけさの

松尾の巻

山を登りて一峰をてりてちやうく

氷上りて

細い物のおとこつれせん

神は神はよめりて

春寒まつい

岩窟を移して

妙なる理

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

わが心

明治十四年十月調於毒丸
山田生見